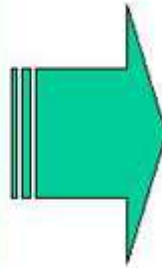


瑕疵主張のされた建築関係訴訟の特色

| 事件の種類 | 民事全事件 | | 瑕疵主張あり訴訟 | 瑕疵主張なし訴訟 | |
|--------|-----------|--------|----------|----------|------|
| | 平均審理期間(月) | 6.1 | | 24.2 | 9.8 |
| 争点整理手続 | 平均審理日数(日) | 5.4 | | 9.1 | 6.1 |
| | 専門家関与率 | | | 42.4% | 7.6% |
| 鑑定実施率 | 1.1% | | 13.2% | 0.8% | |
| 付調停 | 実施率 | 1.2% ※ | | 33.7% | 4.3% |
| | 平均期間(日) | | | 14.5 | 13.4 |



○ 瑕疵主張のされた建築関係訴訟を民事全事件及び瑕疵主張のない建築関係訴訟と比較した場合、

- ① 争点整理についての専門家関与率
- ② 鑑定実施率
- ③ 付調停実施率

に相当な差異が見られる。

※ 参考値…H15における地裁の民事調停事件の新受件数をH15における地裁民事第1審通常訴訟事件(7%以下)で除した数値であり、調停に付された事件の割合そのものではない。

(注) 争点整理手続に関する数値は、民事全事件では争点整理手続を実施した事件のみを、建築関係訴訟については争点整理終了日の報告があった事件のみを対象とする。